

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建物健全性モニタリング小委員会	主 査 名：佐藤貢一 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>地震動を受けた構造物の健全性を迅速に判断するモニタリング評価法、モニタリング結果による設計活用法および建物室内の被害状況について、総括的に調査することを目的に活動。</p> <p>初年度：既往モニタリング文献の収集。 本小委員会の位置づけ・その方針について建物（構造・室内）の健全性評価法に向けて実施。</p> <p>2 年度：既往モニタリング文献（国内外）の整理・分析。 設計に役立つモニタリングについて 1 次診断として層間変形角で評価。 室内（天井も含む）被害と構造の関連性について検討。</p> <p>3 年度：シンポジウムの開催。モニタリングのロードマップや建物健全性評価法について検討。</p> <p>4 年度：モニタリング技術に関する手引書と事例集</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：佐藤貢一(大成建設) 幹事：曾根孝行(竹中工務店)、肥田剛典(東京大学) 委員：池田芳樹(京都大学防災研究所)、ジオン・ニコラ(日建設計)、楠浩一(東京大学)、白石理人(清水建設)、薛松濤(東北工業大学)、中嶋唯貴(北海道大学)、西村功(東京都市大学)、丸谷翔平(日本設計)、三浦耕太(大林組)、三田彰(慶應義塾大学)、向井洋一(神戸大学)、渡壁守正(広島工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 国内外のモニタリング技術の動向の分析を整理。 2. モニタリングの必要性をアピールするため、国内外の研究動向と今後の方向性、健全性診断法や室内被害について検討した。
委員会活動の問題点・課題	1. 記録データや設計図書の公開の有無 2. 竣工後の建物に対しモニタリングしている建物がまだ少ないため、大小地震後の建物性能が把握できていない。